

横浜市立金沢動物園 ヒガシクロサイの「ロン」が死亡しました

金沢動物園で飼育していたヒガシクロサイの「ロン」が死亡しましたので、お知らせします。



ヒガシクロサイの「ロン」

1 死亡したヒガシクロサイについて

- (1) 名 前 ロン
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 38 才 (昭和 63 年 7 月 24 日生まれ)
- (4) 死亡日 令和 8 年 9 月 25 日 (金) 18 時 00 分に死亡確認
- (5) 死 因 不明 (病理組織検査を依頼し調査中)

2 プロフィールと経過

昭和 63 年 7 月 24 日に広島市安佐動物公園で誕生したロンは、平成 4 年 10 月 9 日に金沢動物園に来園しました。メスのローラとの間に 7 頭の子ができ、繁殖に貢献してくれました。現在国内にいるヒガシクロサイの中で 2 番目に高齢でした。

9 月 23 日の日中までいつも通り採食が見られていましたが、翌 24 日朝より自力での採食と飲水がほぼ見られなくなりました。血液検査では脱水の兆候が認められ、採食や飲水を促すよう試みましたが、回復することなく 25 日夕方に死亡しました。

金沢動物園



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

金沢動物園

園長 恩田

TEL045-783-9100

【参考資料】

1 ヒガシクロサイについて

和 名	ヒガシクロサイ
英 名	Eastern Black Rhinoceros
学 名	<i>Diceros bicornis michaeli</i>
分 類	奇蹄目 サイ科
分 布	サハラ砂漠以南のアフリカ中南部
特 徴	熱帯雨林地帯を除く山岳地、森林、茂みなどに単独で生息。体高140～160cmで体重は1tを超える。耳と尾を除き全身に体毛は無く、厚い皮膚で覆われている。頭部には2本の角を持つが、これは終生伸び続けるため、時には1mを越す立派な角を持つ個体もいる。木の葉や草を一日30～40kgほど食べる。出産は通常1仔で、妊娠期間は450日前後。寿命は40年ほど。角を目的とした乱獲等のため絶滅危惧種となっている。
国内飼育状況	10 園館 17 頭（オス 7 頭、メス 10 頭） ※令和 8 年 8 月 31 日時点。今回死亡した個体を含む。
当園飼育頭数	1 頭（メス 1 頭） ※今回死亡した個体を含まない

2 金沢動物園について

- ◆入 園 料：一般 500 円、高校生・中人 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
(毎週土曜日高校生以下無料)
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休 園 日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）12/29～1/1 ※臨時開園あり 10 月無休
- ◆交 通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場でバスに乗車
①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩 6 分
②急行「金沢動物園」行きバスで 10 分（土・日・祝のみ）
- ◆U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住 所：横浜市金沢区釜利谷東 5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100